

札幌のサステナブルな人・モノ・コト まちのこそだて研究所gurumi



右から今村育子さん、柴田未江さん、画面左上が猪熊梨恵さん。会議は主にオンラインで行ない、在宅ワークやオンラインでのコミュニケーションを積極的に取り入れている。



1. 興味のあることにフットワーク軽く取り組み、多角的な企画を考案している。写真は、韓国の絵本を通して、異なる文化の子育てについて学び、自分たちを振り返るオンラインイベントのときのもの。
2. コロナ禍ではオンラインでイベントを開催。「ひっこみじあんな子でもオンラインだと参加がしやすく、『一緒に何かをやる』体験を気軽にできます。コミュニケーションの一つの方法だと改めて気づきました。
3. '20年2月に開催された、子どもの視点に立つことをテーマにした「子どもと世界を遊ぶ・学ぶ・知る」の様子。

『gurumi』がスタートしました。中心となっているのは、今村さん、柴田さん、猪熊さんの3人の女性たち。「もともと子どもを持つ仕事仲間として、日頃の悩みをシェアしていたのですが、『これは都心部全体の悩みなのでは』と。より多くの方々と共有し分かち合うことで、子育てと仕事の負担を軽くしていこうと

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

「『gurumi』がスタートしました。」

まちのこそだて研究所gurumi | info@machi-gurumi.com | <http://www.machi-gurumi.com/>

SDGsとは [SDGsについて詳しくはコチラ▶](#)

「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略で、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。



働くこと

Point [ライフステージごとに働き方を見直す](#)

結婚・出産などライフステージの変化に合わせて、ワーク・ライフ・バランスを見直すことが心地よく働くためのカギ。「今まで通り働き続けたい」「在宅ワークに切り替えたい」など、どういった働き方をしたいかを考えてみよう。



＼自分に合ったワークスタイルを相談／

札幌市男女共同参画センター

性別に制限されず、自分らしい働き方を選択できる社会を目指し、各種セミナーや、女性のためのコワーキングスペース「リラコワ」など、多彩な事業を展開。
<https://www.danjo.sl-plaza.jp/>

ここシェルジュ SAPPORO

「ブランクが不安」「子どもの預け先が心配」「在宅ワークで働きたい」、そんな女性をサポートするため、個別相談やセミナー、職場体験等豊富なメニューを用意。
<https://coco-cierge.com/>

Point [まわりの人と意見をシェア](#)

職場環境や働き方について、同僚や友達と意見交換をしてみよう。同じ悩みに共感したり、新しい発見があることで、「心地よく働くための場を自分たちで作る」きっかけに。



Point [オンラインの活用でCO₂を削減&作業効率をアップ](#)

働く際に排出されるCO₂の大部分が通勤によるものといわれています。在宅ワークやオンラインでのコミュニケーションを取り入れることで、移動時のCO₂排出量の削減やペーパーレス化につながります。また、移動時間が減ることで時間を有効活用でき、ワーク・ライフ・バランスも向上！



＼エコなポイント／

移動する際は、公共交通機関やカーシェアリングを利用したり、冬場の運動不足解消に徒歩で移動して、CO₂排出量を削減。

環境問題に取り組む企業が活躍する時代へ

オフィスで使う電力を再生可能エネルギー由来のものに切り替える、資材をリユースできるものやリサイクル原料のものに切り替えるなど、環境問題に取り組むことで企業価値がアップ。仕事選びのポイントにしてみよう。



みんなが心地よく暮らせる札幌へ 小さな行動チェックリスト

私たちの日々のなにげない行動が、実はSDGsにつながっています。一人ひとりが気軽に実践できる行動リストから、できることをやってみよう。

Point [ワーク・ライフ・バランスを考える](#)

近年、在宅ワークやフリーランス、副業、ワーケーションなど、多様で柔軟な働き方に注目が集まり、「ライフスタイルに合わせて働く」ことがトレンドに。また、2019年にスタートした「働き方改革」により、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業が増えています。札幌市による「ワーク・ライフ・バランスplus企業認証」などを参考に、自分らしく働ける企業や環境を選ぼう。



ワーク・ライフ・バランスplus企業認証
仕事と家庭の両立支援や柔軟な働き方の促進、業務時間の効率化や長時間労働は正の実現、従業員の心身の健康保持など、「ワーク・ライフ・バランス」に取り組む企業を認定。



Point [家庭の「仕事」を家族で助け合う](#)

SDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」では、通常お金が支払われない家事や育児も大切な「仕事」として見なされます。家庭内で不満を溜め込まず、家族で助け合ったり、公共のサービスを利用することが、家族みんなが幸せになるポイント。



【目標5 ジェンダー平等を実現しよう／ターゲット5-4】

お金が支払われない、家庭内の子育て、介護や家事などは、お金が支払われる仕事と同じくらい大切な「仕事」とであるということを、それを支える公共のサービスや制度、家庭内の役割分担などを通じて認めるようにする。※公益財団法人 日本ユニセフ協会「SDGs CULB」参照

一人ひとりの「自分らしい仕事」で、持続可能な社会へ

SDGsの目標8「働きがいも経済成長も」にある「ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」は、「①働く機会と収入の安定 ②労働三権などの権利が確保 ③家庭と仕事の両立が社会保障によって守られること ④公正で平等な扱い」によって実現されると厚生労働省がまとめています。*「働き方改革」によって企業が変わりつつある中、一人ひとりがライフスタイルに合った「自分らしい仕事」を考えることで、働きたい人が活躍でき、持続可能な社会につながります。

※「ディーセントワークと企業経営に関する調査研究事業報告書(厚生労働省)」